

高大連携授業

乙訓高等学校ではスポーツ健康科学科を中心として高校と大学・専門学校と連携した高大連携授業、企業の研究者の方をお招きして講演会を行う産学連携授業を展開しています。

日 時：令和5年10月31（火）

対 象：スポーツ健康科学科1年生（40名）、2年生（40名）

内 容：「スポーツ心理学 自己実現・動機づけ」

講 師：立命館大学スポーツ健康科学部 准教授 笹場 育子 先生

前半は、笹場先生の豊富な経験を踏まえての競技者であるからこそその「**学びの大切さ**」について、後半は心理学的な視点から「動機づけ(モチベーション)」について詳しくお話しいただきました。

モチベーションとは「力を発揮するための心のエネルギー」、「人間が頑張る時に必要な心の材料」です。動機づけには内発的動機、外発的動機があり、それぞれにメリットとデメリットがあります。そして個々においてもどの場面でどの動機づけが有効になるのかが変わってきます。

質疑応答では生徒自身が疑問に感じていたことに対する的確なアドバイスをもらい、「自分の部活動に活かそう!」、「クラスの中でも活かせるかも?」、「将来進学してもっと心理学の勉強をしたいなあ!」と生徒達の眼が輝きっぱなしの素晴らしい雰囲気での授業でした。

今回は生徒にわかりやすいテーマとしてスポーツ場面を想定した講義でしたが、学校生活、一般的な社会生活においても活かすことが出来る内容でした。





